まくべつ社協だより





vol.166
2022
7月発行

■発行
社会福祉法人 幕別町社会福祉協議会
幕別町新町122番地の1　TEL0155-55-3800

一緒に安全・安心な町作りをしてみませんか？

まくべつながら見守り隊!!

ボランティア隊員募集中!!



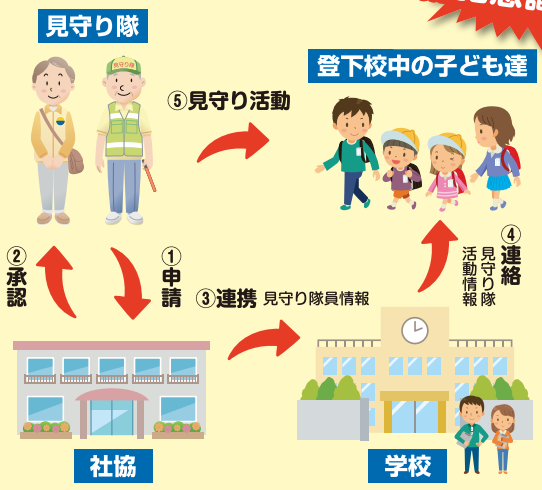
まくべつ見守り隊は、地域に住む皆さんが朝の散歩などの日常的な活動を行う**“ついで”**に、登下校中の子ども達を見守る活動を行います。すれ違った子ども達に「おはよう」「こんにちは」など、ちょっとした挨拶を行い、地域のお年寄りから子どもまでお互いの“顔が見える関係作り”を目的に実施します。自分の健康作りをしながら、ちょっとした活動をしてみませんか?

お互いに顔の見える関係により、防犯及び犯罪抑制、活気溢れる地域作りにもなりますので、ご協力及びご登録をよろしくお願いします!

興味がある方、詳しく知りたいなど気になることがあれば、下記まで気軽にお問い合わせください。

見守り隊イメージ図

犯罪の抑止 防犯意識UP



お問い合わせ　幕別町社会福祉協議会（新町122-1 保健福祉センター）☎(0155)55-3800
担当：倉重、小野

令和3年度 幕別町社会福祉協議会事業報告

事業総括

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、昨年度と同様これまで当たり前のように営んでいた日常生活が大きく制限される中、本会が行う社会福祉事業の活動も中止もしくは延期・縮小せざるを得ない状況となりました。

また、コロナ禍の影響を受け、収入の減少や失業等により生活困窮となった世帯に対し、緊急かつ一時的な生計維持のための特例貸付を行いましたが、コロナ禍が長引く中で、貸付の限度額を超えた方がさらなる貸付ができないか相談されるなど、次年度へ向けた課題として「何ができるのか」を問いかけられ、深く考えさせられる機会ともなりました。

こうした中、今年度の各事業につきましては、「ともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくり」を基本目標とする、「第5期地域福祉実践計画(令和2年度から令和6年度までの5年間の計画)」を踏まえながら、緊急事態宣言等止むを得ない事情による休止を除き、利用者や関係機関等に支障がでないよう、感染症対策と事業継続のバランスをとりながら事業を実施しました。

地域福祉事業

●機械除雪サポート事業

高齢者や障がい者など、除雪が困難な世帯に対する公区や地域住民が行う機械除雪活動に対し助成を行いました。令和3年度は、公区など14団体、36名のサポーターが、高齢者宅などの除雪を延べ552回行いました。

●町民カフェ、ふまねっとサロンの開設

コロナ禍であっても、つながりを維持しながら健康維持のため、感染予防対策を十分に行いながら開催しました。町民カフェは1回開催し、26名が参加されました。ふまねっとサロンは12回開催し、166名が参加されました。



●車イス、ふれあい用具貸出事業

車イスは89件の貸し出しを行いました。また、公区などの交流活動のために、レクリエーション用具や綿あめ機などのイベント用品、合わせて138件の貸し出しを行いました。

ボランティアセンター事業

コロナ禍に対応して、オンライン研修会やSNSの利用講座を行いました。SNS利用講座では「コロナ禍でも人とのつながる」をテーマにLINEの活用方法を学び、のべ41名の方が参加されました。

●幕別町ボランティアセンター

登録数　個人31名　団体12団体241名

成年後見サポートセンター「まくさぽ」

「まくさぽ」では、認知症、知的・精神障がいなどがあり、判断能力が十分でなくなっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、成年後見制度や日常生活自立支援事業の活用についてお手伝いしています。

令和3年度も、新型コロナウイルス感染拡大による休業、失業の増加を受けて、相談件数と生活福祉資金の貸付件数が大幅に増加しました。



●総合相談事業

生活資金、成年後見など　217件

●日常生活自立支援事業

契約者4名　生活支援員登録者19名

●法人後見事業

法人後見受任7名　法人後見支援員登録者17名

●福祉金庫貸付事業

貸付14件　償還28件

●生活福祉資金貸付事業

緊急小口資金50件、総合支援資金99件

介護保険事業

●デイサービスセンター

介護予防や介護保険の通所介護施設として、令和3年度も新型コロナウイルス感染予防対策に万全を期しながら、入浴サービスやレクリエーション等に加え、専門員による機能回復訓練やセンター内のウォーキングを行いました。

●延べ利用者数　5,971名　●一日平均利用者　20.4名

この社協だよりは、共同募金（助成金）の一部で作成いたしました。

札内コミュニティプラザ喫茶事業

障がい者の中間的就労と地域住民の交流の拠点づくりを目的に札内コミュニティプラザに喫茶「CAFEノンノ」を運営しています。
営業日数218日
延べ利用者数4,250名



高齢者就労センター事業

高齢者就労センターでは、概ね60歳以上の会員の方へ町内の公共事業や一般家庭から受けたお仕事を紹介しています。

民間事業928件、公共事業74件の業務を受注しました。



幕別町委託　在宅福祉事業

●外出支援サービス事業

公共交通機関の外出が困難な高齢者の方を対象に、病院等へ1,635回送迎を行いました。

●生きがい活動支援通所事業

新型コロナウイルス感染拡大をうけて一時休止しましたが、介護保険を利用していない高齢者の方を対象に、近隣センターにて、健康体操教室など、917名の参加がありました。

●生活支援コーディネーター配置事業

地域のつながり、支え合い活動を支援するため研修会や地域のつながりをまとめた広報紙「まちびと」の発行を行いました。研修会にはのべ78名が参加しました。

この他委託事業は3事業実施しました。

令和3年度決算　貸借対照表

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額(円)	勘定科目	金額(円)
流動資産	**39,027,596**	**流動負債**	**14,900,275**
現金預金	30,127,444	事業未払金	10,310,672
事業未収金	8,769,742	未払費用	3,702,048
立替金	130,410	預り金	11,577
		職員預り金	875,978
		固定負債	**15,900,530**
		退職給与引当金	15,900,530
固定資産	**146,338,311**	**負債の部合計**	**30,800,805**
基本財産	2,000,000	**純資産の部**	
基本財産特定預金	2,000,000	**基本金**	2,000,000
その他の固定資産	144,338,311	**基金**	123,686,645
機械及び装置	237,254	福祉基金	64,056,548
車輌運搬具	2,483,752	介護保険事業等経営安定化基金	59,630,097
器具及び備品	1,133,082	**国庫補助金等特別積立金**	1,090,505
権利	216,000	国庫補助金等特別積立金	1,090,505
ソフトウェア	492,048	**次期繰越活動収支差額**	27,787,952
福祉金庫貸付金	189,000	次期繰越活動収支差額	27,787,952
退職共済引当資産	15,900,530	(うち当期繰越活動収支差額)	△5,930,433
福祉基金積立資産	64,056,548		
介護保険事業積立金	59,630,097		
		純資産の部合計	**154,565,102**
資産の部合計	**185,365,907**	負債・純資産の部合計	**185,365,907**

社協ホームページをぜひご覧ください!

幕別町社協のホームページでは、紙面に掲載以外の決算報告書類をご覧いただくことができます。

その他にもブログやお知らせも掲載していますので、ご覧ください。

携帯電話用 QRコード

http://maku294.jp

この社協だよりは、共同募金(助成金)の一部で作成いたしました。

令和3年度決算　資金収支計算書（法人全体）

（単位：円）

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入	会費収入	2,176,000	2,028,660	147,340
		寄附金収入	2,502,000	1,309,418	1,192,582
		経常経費補助金収入	32,260,000	32,190,617	69,383
		受託金収入	29,407,000	27,182,351	2,224,649
		貸付事業収入	250,000	591,000	△341,000
		事業収入	64,181,000	57,513,659	6,667,341
		介護保険事業収入	38,050,000	43,926,970	△5,876,970
		受取利息配当金収入	65,000	41,812	23,188
		その他の収入	607,000	895,867	△288,867
		事業活動収入計(1)	169,498,000	165,680,354	3,817,646
	支出	人件費支出	83,524,000	77,642,207	5,881,793
		事業費支出	22,310,000	20,243,394	2,066,606
		事務費支出	15,013,000	12,247,234	2,765,766
		配分金支出	51,546,000	47,097,242	4,448,758
		利用者負担軽減額	224,000	183,395	40,605
		貸付事業支出	250,000	630,000	△380,000
		分担金支出	431,000	345,200	85800
		助成金支出	2,129,000	1,263,547	865,453
		負担金支出	960,000	845,000	115,000
		流動資産評価損等による資金減少額	10,000	0	10,000
		事業活動支出計(2)	176,397,000	160,497,219	15,899,781
	事業活動資金収支差額(3)＝(1)-(2)		△6,899,000	5,183,135	△12,082,135
施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出	固定資産取得支出	1,400,000	1,311,931	88,069
		施設整備等支出計(5)	1,400,000	1,311,931	88,069
	施設整備等資金収支差額(6)＝(4)-(5)		△1,400,000	△1,311,931	△88,069
その他の活動による収支	収入	基金積立資産取崩収入	20,327,000	14,900,000	5,427,000
		その他の活動収入計(7)	20,327,000	14,900,000	5,427,000
	支出	基金積立資産支出	10,000,000	85,000,00	1,500,000
		積立資産支出	1,146,000	1,139,040	6,960
		その他の活動支出計(8)	11,146,000	9,639,040	1,506,960
	その他の活動資金収支差額(9)＝(7)-(8)		9,181,000	5,260,960	3,920,040
予備費支出(10)			882,000		882,000
当期資金収支差額合計(11)＝(3)＋(6)＋(9)-(10)			0	9,132,164	△9,132,164

前期末支払資金残高(12)	14,995,157	14,995,157	0
当期末支払資金残高(11)＋(12)	14,995,157	24,127,321	△9,132,164

この社協だよりは、共同募金（助成金）の一部で作成いたしました。

令和3年度決算　事業活動計算書（法人全体）

（単位：円）

勘定科目			当年度決算（A）	前年度決算（B）	増　減（A）-（B）
サービス活動増減の部	収益	会費収益	2,028,660	2,113,160	△84,500
		寄附金収益	1,309,418	2,368,730	△1,059,312
		経常経費補助金収益	32,190,617	32,487,689	△297,072
		受託金収益	27,182,351	26,916,675	265,676
		事業収益	57,513,659	59,606,503	△2,092,844
		介護保険事業収益	43,926,970	44,831,770	△904,800
		サービス活動収益計（1）	164,151,675	168,324,527	△4,172,852
	費用	人件費	78,781,247	82,904,926	△4,123,679
		事業費	20,243,394	21,658,981	△1,415,587
		事務費	12,247,234	14,186,259	△1,939,025
		配分金費用	47,097,242	48,889,283	△1,792,041
		利用者負担軽減額	183,395	249,542	△66,147
		分担金費用	345,200	372,000	△26,800
		助成金費用	1,263,547	2,091,400	△827,853
		負担金費用	845,000	759,400	85,600
		基金組入額	8,500,000	1,040,0000	△1,900,000
		減価償却費	2,566,604	2,718,592	△151,988
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△1,093,076	△1,363,943	270,867
		徴収不能額	40,000	190,000	△150,000
		サービス活動費用計（2）	171,019,787	183,056,440	△12,036,653
		サービス活動増減差額（3）＝（1）-（2）	△6,868,112	△14,731,913	7,863,801
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	41,812	64,214	△22,402
		その他のサービス活動外収益	895,867	3,979,207	△3,083,340
		サービス活動外収益計（4）	937,679	4,043,421	△3,105,742
	費用				
		サービス活動外費用計（5）	0	0	0
		サービス活動外増減差額（6）＝（4）-（5）	937,679	4,043,421	△3,105,742
		経常増減差額（7）＝（3）＋（6）	△5,930,433	△10,688,492	4,758,059
特別増減の部	収益				
		特別収益計（8）	0	0	0
	費用	固定資産売却損・処分損	0	2	△2
		特別費用計（9）	0	2	△2
		特別増減差額（10）＝（8）-（9）	0	2	2
		当期活動増減差額（11）＝（7）＋（10）	△5,930,433	△10,688,494	8,181,409
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額（12）	18,818,385	10,636,976	12,939,470
		当期末繰越活動増減差額（13）＝（11）＋（12）	12,887,952	△51,518	0
		基本金取崩額（14）	0	0	△3,969,903
		基金取崩額（15）	14,900,000	18,869,903	0
		その他の積立金取崩額（16）	0	0	0
		その他の積立金積立額（17）	0	0	
		次期繰越活動増減差額（18）＝（13）＋（14）＋（15）＋（16）-（17）	27,787,952	18,818,385	8,969,567

この社協だよりは、共同募金（助成金）の一部で作成いたしました。

令和4年度　社協会員への加入をお願いします

～誰もが安心して暮らせるまちづくりのために～

社会福祉協議会は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを目指しています。昨年度は、2,028,660円もの会費を皆様からいただき、13の事業を行うことができました。皆様のあたたかいご協力に心より感謝申し上げます。

今年度も引き続き、社協の活動の趣旨をご理解いただき、会員へのご加入をお願いいたします。

一般会員/目安一世帯 500円

※1,000円以上の場合は特別会員として区分させていただきます。

★7月に公区長さんを通じてお願いをしております。
会費の主旨や使いみちにつきましては、
7月の公区内回覧をご覧ください。



令和3年度　社協会費の主な使いみち

地域ふれあいサロン支援事業



地域の方が気軽に集うことができる地域サロンの活動支援と保険料の助成費用として。

地域ふれあい用具の整備



地域ふれあい用具の修繕や新しい用具の購入費用として。

ふまねっとサロン



幕別北コミセン、保健福祉センターにて開催しているふまねっとサロン開催費用として。

機械除雪サポート事業



公区で行っている除雪困難世帯への機械による除雪活動の助成金として。

町民カフェ MOCO（モコ）開催について

★開催予定日（第3火曜日）

7月19日(火)
8月16日(火)
9月20日(火)



- 会場／幕別町保健福祉センター（新町122-1）
- 時間／10:30～13:00

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、開催時間の変更や開催中止となる場合がございますので、開催につきましては下記までお問い合わせください。皆様のご理解とご協力をお願いします。

令和4年度 ふれあい広場 中止のお知らせ

今年度の「ふれあい広場」開催につきまして、関係者による協議の結果、高齢者や障がい者など、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが高い方が多く参加する催しであることや会場の保健福祉センターが手狭なため、密集の恐れがあることを考慮し、やむを得ず中止することといたしました。

昨年に続き今年も中止となり、開催を心待ちされていた皆様には、誠に申し訳ございませんが、何卒、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ　幕別町社会福祉協議会（新町122-1 保健福祉センター）☎(0155)55-3800
FAX(0155)55-2115

この社協だよりは、共同募金（助成金）の一部で作成いたしました。

＼脳トレで／脳を活性化!!

幕別町社会福祉協議会デイサービスセンターでは、
脳活性化プログラムの取組にも力をいれ、
認知機能の“維持・向上”を目指しています。

音読で「声に出す」、その声を「耳から聞く」ことで脳を刺激しています。



口も鍛えられてるよ!!

計算は難しい問題を解くよりも、簡単な計算の方が脳は元気になります。



2+3=5 スラスラ♪

数字合わせの効果は手指を使って脳に刺激、注意力や集中力の向上です。



もう少し、楽しいよ!!

間違い探しでは初級編・中級編・上級編があります。



見つけた時は嬉しい～

ウノカードや花札、麻雀等で楽しみながら脳を刺激しています。



もう少しで勝てそうよ！ピース!!



麻雀等を楽しまれた後は喫茶の時間でくつろぎタイム♪

ふまねっとサロン活動中♪



【令和4年7月～9月の予定】

- **開催日：第2金曜日▶幕別北コミュニティセンター　第3金曜日▶幕別町保健福祉センター**
  ※会場の予約状況によっては、隣の幕別南コミュニティセンターに変更する場合があります。
- **時　間：13時30分～15時00分**（茶話会は行いません）
- **持ち物：水分補給のための飲み物、マスク、タオル、上靴**（幕別北、南コミセンで使用）

★新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、急遽、中止する場合がございます。開催についてのご確認に関しましては、下記までご連絡ください。
今後も感染拡大防止を行いながら、楽しく開催していきたいと思っておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ　幕別町社会福祉協議会（新町122-1 保健福祉センター）☎(0155)55-3800 FAX(0155)55-2115

この社協だよりは、共同募金（助成金）の一部で作成いたしました。

社協に新しい職員が入社しました！

4月と5月に入社しました職員を紹介します！
どうぞ、よろしくお願いします。



皆さんと楽しい時間をご一緒したいと思っています。よろしくお願いします。

いきいきエンジョイ教室・
お元気ですか訪問担当
酒井（さかい）　ゆかり



安全運転に務めますので安心して乗車してください。よろしくお願いします。



外出支援サービス担当
鎌田（かまだ）　雅志



頑張ります!!
皆さん、ぜひ、ご来店ください。

カフェ・ノンノ担当
中野（なかの）　華陽子（かよこ）

CAFE non・no

幕別町共同募金委員会より

COMING SOON!



ご当地ピンバッジ「ピラ・リ」

1個 500円 寄付金付き

明野ケ丘公園にたたずむ町のシンボル。黄金に輝く『ピラ・リ』です!
500円のうち約200円が募金となり、町内の団体や学校等で使われます。
8月からの販売を予定しておりますので、
販売先等につきましては、下記へお問い合わせください。

★皆様の温かいご支援ご協力をお願いいたします。

●お問い合わせ
幕別町共同募金委員会（幕別町社会福祉協議会内）
☎(0155)55-3800 FAX(0155)55-2115 担当:数田

皆様からの心のこもったあたたかい善意
誠にありがとうございます

寄付金（3月3日～5月31日）

※敬称は略させていただきます。

受領日	寄付者名	寄付の理由、目的
3/3	2022 マクベツツナグランタン実行委員会	社会福祉事業のため
3/9	匿名(緑町)	社会福祉事業のため
3/25	幕別建設業協会 会長 藤原 治	社会福祉事業のため
3/29	幕別経友会 会長 後藤 光博	社会福祉事業のため
4/21	杉本 義昭	社会福祉事業のため
4/26	岡田 キヨ子	社会福祉事業のため

物　品（3月3日～5月31日）

※敬称は略させていただきます。

受領日	寄付者名	物　品
3/11	幕別町商工会女性部	古切手、リングプル

※氏名や所属等の公表に関して、ご了承いただいている方のみ、お名前を掲載しています。（敬称略）

この社協だよりは、共同募金（助成金）の一部で作成いたしました。

令和4年度　市民後見員養成研修受講者募集中



幕別町では、認知症や知的・精神障がい等により、判断能力が十分でない方の権利を守るため、財産管理や日常生活でのさまざまな契約等の後見業務を行なうことができる知識・技量を備えた**「市民後見人」**を養成する研修を開催します。

●研修日程

令和4年8月18日（木）から令和4年9月29日（木）の毎週木曜日（全7回）

概ね13時から17時までを予定

●応募方法

「市民後見人養成研修受講申込書」に必要事項を記載し、写真(縦3㎝×横2.5㎝・裏面に記名)を貼付したものを、幕別町社会福祉協議会まで郵送又は持参すること。

●募集期間

令和4年6月15日（水）～令和4年7月22日（金）（必着）

●定員10名

（申込先着順で定員になり次第締切りとする）

●受講料

無料。但し、教科書代（2,277円）は受講者負担とする。

募集要項・申込書等は、幕別町社会福祉協議会窓口、幕別町役場札内支所、ふれあいセンター福寿などでお受け取りできます。







ふれあい農園サロン 活動報告







令和4年4月から始まった「ふれあい農園サロン」は、今月で活動3ヵ月目になりました！農業経験者から初心者と皆でワイワイ楽しく活動し、野菜も順調に育っています♪早いものは7月中に収穫できそうなので楽しみでいっぱいです！

これから暑くなってきますが、気合を入れて頑張りましょう♪

この社協だよりは、共同募金（助成金）の一部で作成いたしました。

まちびと通信 増刊号

●発行日／2022年7月 ●発行元／幕別町社会福祉協議会 幕別町新町122番地の1（幕別町保健福祉センター内）

今回も地域の皆さんのもとへ取材にお伺いし、日頃の暮らしぶりについてお話を聞かせていただきました。まだまだコロナとの戦いは続きそうですが、みんなで支え合いながら長引くコロナ禍を乗り切りましょう。

今回のまちびと増刊号では、感染対策を行いながら楽しく集い、活動している奥様方を取材させていただきましたので、皆さんにご紹介いたします。

家族の様な仲間達

青葉町近隣センターの扉を開けると楽しそうな音楽が流れており、チラリと様子を伺うと、奥様方が音楽に合わせてダンスを踊っている姿が目に入りました。お話を聞くと、ここでは、毎月第2、4金曜日の午後1時から「ほほえみ会」の皆さんが活動しているそうです。「ほほえみ会」代表の奥山ハナ子さん（80）は、「前々から歩いて来れる距離で皆と楽しく何かをやりたくて、お友達を誘ってこの会を立ち上げたの。コロナ禍の影響で集まれなくなった時期もあったけど、今は少しずつ元に戻ってきているかな。今年で活動10年目になり、ここまで一緒に活動できたことは嬉しく思うし、皆のことを家族の様に思っているの」と嬉しそうに語ってくれました。





大切な憩いの場

元々「ほほえみ会」は、午前中に集まり、お喋りやダンス、ビンゴゲームを中心に活動し、皆で持参したお弁当を食べながら、最近あった出来事や相談などを話していましたが、緊急事態宣言もあり、一時活動を中止していたそうです。しかし、参加者から「また皆で集まってお喋りしたり、ダンスをしたい」という声が多く上がり、それに背中を押され活動を再開することを決心したそうです。コロナ禍での活動になったため、集合時間を午後へと変更し、手指消毒や人との間隔を空けるなどの工夫をしながら今日まで楽しく活動しています。参加者からは「ダンスは得意ではないけど、皆の顔を見てお話するのが楽しみ」「コロナの影響で皆とお弁当を食べれないのは寂しいけど、こうやって集まれるから嬉しい」などの声を聞くことができました。

〝楽しく微笑んで帰ってほしい〟という思いから名付けられた「ほほえみ会」は、参加者の思いやちょっとした工夫をしながら、コロナ禍でも楽しく集まれる憩いの場になっていることが分かりました。参加している皆さんの表情も名前のとおり笑顔で溢れており、とても素敵でした。

